

東芝深谷 OB会会報

[第3号]

OB会事務局
0485(74)2014

第八回総会を終えて

会長 渋谷昇

七月十八日深谷工場に於いて、第八回の総会が開催されました。お暑い中、遠路御多用にもかかわらず、顧問の皆様十三名、会員の諸氏百八十名の方々の出席を得、総会、懇親会、お祭りへの参加等、盛大に実施出来ましたことを幹事一同感謝致しております。OB会活動の三本柱も順調に推移しております。

一、同好会も十の同好会に延べ二百八十名の方々が参加しています。各同好会共に専門家がおられ、初心者には、ていねいな指導、上級者には共に研鑽の場になつていきますので未加入の方はぜひ一人でも多く御加入下さいます様に。

二、ボランティア活動は今年度から『埼玉県高齢者いきがい振興財団』に加入致しました。いろいろの情報を皆様に流す様に致します。又、使用済みの切手、テレカ等事務局へ送って下さいれば幸いです。

三、会報は八月末発行します。尚、皆様方の投稿をお待ちします。

夏祭の出店も大変好評でした。皆様方からお寄せいただいた大切な品物も完売致し売上も六万一千円となりました。この一部を福祉協議会へ寄付させていただきました。

今後とも御支援御協力の程よろしくお願い致します。

東芝深谷OB会会報に 寄せて

総務部長 藤川 康立

七月の東芝深谷OB会総会は、大先輩から最近退職された若手の先輩まで多士済々の顔ぶれが揃われ、誠に盛況でした。当日は暑い日でしたが、それにも増して皆さん方の熱気の方が勝っていたようにも感じられました。日頃の各種サークル活動やOB会行事の自主運営等、これらの活発な活動を生み出している原動力は何か。いろいろ理由があるのでしょうか。多くの方が京浜地区の工場から移られ、真つ更な土地に、今の(深谷)

を築き上げられたことと無関係ではないのでしょうか。

その(深谷)も液晶のクリーンルームが完成しつつあり、液晶事業の一大拠点になるうとしています。昭和四十年に一〇一号の建屋からスタートした(深谷)は、その様を大きく変えようとしています。(深谷)の映像、C D T、液晶の各事業は大変厳しい状況にありますが、諸先輩方の叱咤激励もいただきながら何とか乗り越えて、新しい(深谷)を作っていくなくてはならないと考えています。

OB会の益々のご隆盛と会員皆様方のご健勝を祈念する次第です。



OB会旅行記

深町 喜久男

去る三月開催のOB会バス旅行に参加した。コースは梅林で有名な水戸偕楽園、歴史と由緒ある鹿島・香取神宮をメインに外房を周遊するコースで、参加者は二十八名でした。

バスに乗るなり車内は酒席となり、賑やかに談笑するうちに最初の目的地偕楽園に到着。昼食もそこそこに梅林見学に出かけたが、丁度梅の花が満開でこれ以上の見頃はないほどの絶好の見応えであった。

偕楽園は徳川斉昭の造営で、NHK大河ドラマ「徳川慶喜」の影響もあってか、梅林見物と歴史探訪の人々が大勢押し寄せ、弘道館や義烈館等の水戸藩由来の施設は見学もままならないほど大変な賑わいであった。

宿泊は犬吠岬のホテルで、会長の挨拶で開宴した懇親会は、飲むほどに酔うほどに座が盛り上がり、宴が終った後も夜を徹して飲む者、囲碁や将棋に熱中する者等、そのバイタリティーは現役時にも勝る

とも劣らず、人生はまだまだこれからという気迫と頼もしさを感じた。

ホテルは太平洋に突き出た岬にあり、日の出見学の客が多いとのことであったが、水平線から昇る金色の朝日を温泉に浸かりながら、眺める気分は言葉では表せない爽快さがあり、心身のリフレッシュには、最高の温泉浴であった。

久しくバス旅行には縁がなかったが、会長、幹事のご配慮により入会早々参加できたことに感謝するとともに、今後もOB会ならではの楽しい企画と、多数の参加を期待し旅行記とします。

カラオケ同好会に入会して

松川 忠司

カラオケ同好会に仲間入りして一年余り、毎回のレッスンは懐かしい友との再会ができ、若き日の思い出ばなしも加わって、楽しいひとときです。

私も最近は人前で歌うことに馴れ、歌詞内容を見て情景を想像、そして創作力を持つ様になり、歌うテクニク、アクションを覚え、スムーズに歌えるようになってきま

した。仲間達は、それぞれの得意の曲目を歌い聞かせてくれます。

素晴らしいと想った曲は、イントロから感動し自分も覚え、歌い方を学ぶ。歌詞内容を理解して歌うことは感情が磨かれ、声の出も良くなり、心身共に健康の維持につながります。私達も高齢者と言われる年令になり、多少なりと身障を持つ身となりましたが、これらを克服し楽しく感情をこめて歌うことによって、いくつかの健康につながる効果も得られるでしょう。

一、人前で歌えると言う日常にない緊張効果によって、ボケ防止になる。

二、日常生活から離れて、違う人生を感じる変身効果、心を爽快にしてくれる。

三、真剣に歌って後で味わう、リラックス効果も気持ちが良い。

四、数曲も歌ってみると、吐く息、吸う息が四〇〇〜五〇〇mも走ったような運動、そして呼吸効果が得られ身体によい。

歌うことは人生において、楽しい世界です。

東芝ゴルフOB会に初参加 ありがとうございました

梶山 實

懐かしい諸先輩に逢える！この一念で自分の腕も顧みず、初参加をさせていただきました。また、新米が「遅れて足を引く張つては申し分けない」そんな気持ちもあり集合時間の三十分前に会場に着きました。

四月二十一日の新玉村ゴルフ場は晴れて、新緑が美しく、カエルの合唱が聞こえる長閑な佇まいでした。その中、先輩に会う度に初参加の挨拶が周りの静けさを止め、賑やかさがパター練習の邪魔をしたのではないかと思います。年代が近いせいか先輩の顔を忘れることはありませんがフルネームが出てこない時もあり、自分の名前だけ名乗って失礼をしました。

サー朝一のドライバーはいつもながら緊張します。スタンスを決め、肩よし、腕よし、…等眩しながら一振、やった！フェアウェイに転がった。このホールはボギーで上がり、良い方の滑り出しであった。

結局、アウト52でハンディーキャップ32を考えれば予定通り

の出来だった……。

ハーフを終わってランチタイム生ビールの旨いこと、カツカレーで縁起を担ぐ、先輩との談笑しながら楽しいひとときが過ぎた。

インに入って四ホール目、ショートホール、目の前の池が過去の池ポチャがよぎった。今度はすっかり打たなくてはと思いつつ：スウィング、案の定トップして池へ。

この後が、バンカーお叩き、OBと続き、スリーパット、結局はキレてしまった。上がって見れば62といつもの結果だった。キレの克服は練習で自信をつける事であろうか。

表彰式は懐かしいメンバーが一同に介して楽しく賑わいの中で進み、優勝者は池田重郎さんがNE T 57と抜群の成績である。HC 34と云いつても随分練習をした事と感服します。ベスグロは信田岩根さん、相変わらず上手で強い。

今回の初参加は先輩達の元気に励まされ、力強さを感じました。これからご指導を頂き、上手くなって、健康第一でいつまでもゴルフを続けたいと願うこの頃です。

趣味としての盆栽に思うこと

館澤 貞雄

私の植物との付き合いは十五才頃からだったと思う。北国に生れ育った事もあり春残雪の頃堆肥を積み温床を作りナス、トマト等を育苗したのが始まりである。その後東芝に入社する迄の約十三年間は日曜百姓をした事もあり植物の育成にはかなり自信があるつもりであった。当地に転勤し趣味のサツキ盆栽を始めることになったが、見るとやるとではあまりにも差があり過ぎ百姓の経験は何処かへ飛んでしまったのである。最初の躰きは用土、日照、水やり等々最後には樹形で行き止りとなったが、始めたからにはと致し方なく、最初三百本の挿芽から順次整理し現在十数鉢のみとなった。いかに不要な盆栽でも小指程の小さな苗木から育てて見ればそうは嫌う事は出来ない。理論は別として、趣味の盆栽は「自己満足」出来ればそれで良いのではなからうか！

※盆栽は家庭円満の一助でもあり又、子供の情操教育の量にもなると思う。



将棋同好会便り

世話人

門倉 正一郎

笹島 義雄

将棋には、相手に勝る構想を立てて戦いに突入し、読みの深さにおいて勝つことを理想とする、もしくはそれが勝負の本質とする考え方と、将棋は結局人と人との戦いだから、ミスをした方、特に最後にミスをした方が負ける競技だという考え方の、二つに分かれる（両方とも思っている人も多いかも知れない）と思う。

大変難しいことを言っている様に思えるが、さに非ず毎月第一水曜日の例会は、和気藹々の中、一日将棋が楽しめる会で一人が必ず五局指せるとあって、勝つても、負けても、日頃の實力棋風で指せる同好会です。同好会会員も増えて既に二十名となり、例会には平均毎回十四名ほど参加し盛況です。例会では、途中で昼食会も行い懇親を深めております。又、年一回は温泉一泊旅行で時間たっぷり将棋大会を行い、合せて年間最優秀棋士の表彰をすることもしています。

新聞の将棋欄や、TVの将棋講

座、対局を見て、一人将棋をしている人も上級者が、親切丁寧に指導を行いますので是非入会をお勧めします。将棋の世界はまだ右も左もよく解らない方、どうやって相手の王様を攻めるか、これという考えをもっておらず相手が指すごとに一喜一憂する方も、上級有段者が、暖かい目で見守り指導を行います。

最近将棋ファンも確実に増えている。勇気を出して同好会に参加、入会して下さい。お待ちしています。楽しんだ人が勝ちです。

囲碁について

二の頃考えること

渡部 和夫

囲碁を覚えたのは東芝入社以来であるのでずいぶん長く付き合ったものだと思うが、棋力の方は依然停滞したままである。

囲碁とのこれまでの関わりを振り返ってみると、囲碁での成長の過程が人生のそれと似たところがあつて面白い。

覚えたての頃は何でも面白く、また何でも覚えようとする。たまに勝ったりすると面白さが倍加する。よく喧嘩をし石の取り合いを

し、いじめにも会う。同じ位の仲間と競り合いつつ、如何にも自分の方が強いような錯覚で囲碁を打っている時期、いわば生意気盛りの少年期である。

段々、打つ相手が拡がると世の中そう甘くないことを実感する。負けて悔しい思いを味わう。年齢とかに関係なく碁の強い人がその世界では先輩であり、また先生であつたりする。挫折を味わって、強くなろうとする時期、いわば青年期である。

迷い迷った挙げ句プロの通信講座を受けた。それまで断片的に本などを読んだだけでは解らなかつた、囲碁の打ち方の基本的な考え方（少し大げさですが）のようなものがプロ棋士の添削を通してある程度身に付いてくると何か、自分の囲碁観が一段落ついたような気がした。碁を覚えて三十数年経つてやっとこの境地では我ながら情けない限りであるが、上には上のあるこの世界、まだまだやることがあると思つているこの頃である。さしずめ、大学は出たけれど、この境地だろうか。

軽ハイキング同好会

世話人 塙 安雄

沼田 信之

毎年新入会者があり、同好会員も三十六名となりました。会費は年千円です。秋春二回のハイキングを楽しんでいます。

今回は、五月下旬に十七名の参加で鳩待峠より、「水芭蕉咲く尾瀬ヶ原」を散策しました。この時期、残雪が多く有り、雪解けの流れの中に純白の水芭蕉が一面に咲いているはず？でしたが、今年は異常気象で雪解けが早く、水芭蕉も盛りを過ぎていましたが、リュウキンカ、ミツガシワ、タテヤマリンドウ等が目を楽しませてくれました。

尾瀬ヶ原は大小の池塘群が点在し、前に燧ヶ岳後に至仏岳が対照的な姿を見せていた。

原の中間点、竜宮小屋まで行き折り返し、鳩待峠に戻った。

今後とも会員が奥様を同伴で参加出来る様な、ハイキングコースを計画致します。

是非、多数の参加をお待ちしております。

想いでを録して見ませんか

中島 祐三郎

小澤 一二

ビデオカメラ同好会が発足して三年目を迎えました。同好会は、年間の行事を通して『撮る』『見る』『編る』『録す』の情報交換を行ないビデオ撮影のコツと基本テクニックの談議に花を咲かせお孫さんの運動会や遠足、発表会、祭り、或いは家族旅行、ハイキング、ドライブなど『うちの子が主役』を撮って家族みんな楽しんでおります。

当同好会は、春秋二回の軽ハイキング同好会とタイアップし、山野の散策の様子を撮影しています。編集を楽しんだ後、ダビングをして参加者の皆様に持ち廻りで散策の様子を楽しんで貰っています。又、会員の撮ったテープの観賞も随時行なっています。最近他同好会、旅行、カラオケ、ゴルフの撮影も依頼され編集、放映会、テープの配布も済み大変喜ばれています。撮ったテープは同好の士と再編集し、七月東芝OB会総会に放映しました。皆さんも参加してビデオを撮り、十年後に自分を見ませんか。

各同好会会員募集

OB会では、各会員の相互理解と、趣味を通しての“いきがい”づくりのため、各サークル加入への連絡調整をいたします。ご希望の方は、遠慮なく事務局まで。

◎申込先

○四八五―七四―二〇一四

OB会事務局 菊池

●野口義夫さん(深谷工場総務部)

がご逝去されました。
慎んでお悔やみ申し上げます。

編集委員

活発なる同好会活動を願うと共に、時折皆様方よりの便りもいただけると助かります。

幹事 小沢 正行

” 小林 哲嗣

